



一般質問

Q & A

視覚障がい者への福祉施策を伺う



創世会
小沼 秀朗

Q 掛川市総合福祉センター内、掛川駅から掛川城・商店街・掛川市総合福祉センターへの誘導点字ブロックの整備をいかに進めるのか。また「障害者週間」を活用し障がいを

持つ方々をより思いやる施策ができるか伺う。



掛川市総合福祉センター

意見を聞きながら検討する

A 視覚障がい者のみなさんの意見を聞きながら検討し、より良い歩行空間が確保できるよう努めます。

より思いやる施策については、改めて商工会議所や商工会等を通じて、障害者差別解消法を啓発するパンフレットを配布することなどにより、

自然災害別の防災を伺う

障がいの有無に関わらず、まちなかで買ひ物や飲食ができるまちづくりにつけていきます。

Q 今後の災害別避難場所の設置計画と避難所への自家発電設備、水の確保をいかに整備していくのか。また県内でも多い1,426箇所

の土砂災害危険箇所をどう整備していくのか伺う。

積極的に対応する

A 避難場所と避難所の考え方や、まち協の設立

など地域の状況が変わってきているため、新たな避難場所を地域の方々と検討するとともに、地域の資機材等の整備も補助制度などで、積極的に支援していきます。また、被害を出さないためには危険な区域から事前に移転していくことが重要と考え、土砂災害特別警戒区域外への移転促進に資する制度の拡充に向け要望していきます。

【その他の質問事項】

・新天皇祝賀パレードについて

小中一体校推進と市内全域の学校再編の関係は



日本共産党
勝川 志保子

Q 学校の再編は、学校配置、地域コミュニティ

や公共施設マネジメントなど、様々な観点を含めた全市の話し合いを基に方向を決めていくべきではないか。

小中一貫教育と学校再編を同時に進めていく

A 小中一貫カリキュラムの研究を進め、今後

市内全域で小中一貫教育を推進していきます。また、学校施設の老朽化や地域による児童生徒の偏り、教員不足等の課題を解決するため、適正規模・適正配置の考え方に基づいた学校再編計画を併せて検討していきます。市長部局との協議のほか、市民や地域の方々の御意見等を踏まえながら進めていきます。

市として責任を持った駅前再開発を

Q 駅前再開発は基本計画に沿った市が責任を持つ事業。1,965万円もの

地代の滞納を積み重ねている東街区事業が成功しているとは思えない。検証のないままの西街区土地売却は無責任ではないか。



まんまえパーキング

西街区を整備し賑わい創出

A 地代の滞納は覚書に基づき猶予している借地

料であり、平成31年4月から返済されることとなっています。西街区を民間に売却し、民間活力による事業を行うことで、中心市街地の賑わいが創出され、東街区との相乗効果を期待しています。

【その他の質問事項】

・高齢化の進む中で、市民の命と健康を守るための責任を持った医療・介護体制のあり方について